

令和8年度 新規採択希望

農村地域防災減災事業

事業計画書

く に た
九日田 地区

宮崎県

宮崎市

九州農政局

目 次

第1章 目的	1		
第2章 地域及び地積	1	2. 経営耕地広狭別農家及び耕地の分散状況及び	
第1節 地域	1	専兼業別農家数	10
第2節 地積	1	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	10
第3章 現況	2	4. 主要作物付状況	11
第1節 気象及び海象	2	5. 農業動向	11
1. 一般気象	2	第6節 地域環境の概況	11
2. 特殊気象	2	第4章 一般計画	12
3. 海象	3	第1節 事業計画の要旨	12
第2節 土地状況	3	1. 要旨	12
1. 地形、土壌及び侵食の程度	3	2. 事業別面積	12
2. 土地分類	4	第2節 営農計画及び土地利用計画	12
3. 土地利用の状況	4	1. 営農計画の概要	12
4. 土地所用の状況	5	2. 土地利用区分	12
第3節 水利状況	5	3. 作付方法	13
1. 用水状況	5	4. 生産計画	13
2. 排水状況	7	5. 労働改善計画	14
3. 河川状況	9	6. 級地別土地利用区分	14
第4節 道路概況	9	7. 土地配分計画	15
1. 道路概況	9	第3節 用水計画	15
2. 主要道路一覧表	9	1. 計画基準年	15
第5節 地域農業の概況	10	2. 計画かんがい方式	15
1. 産業別就業人口	10	3. 計画用水系統	15
		4. 計画用水量	15
		5. 水源計画	16

第4節	排水計画	18	第10節	老朽ため池改修計画	23
1.	計画基準雨量	18	1.	洪水吐改修計画	23
2.	計画排水方式	18	2.	堤体補強計画	23
3.	計画排水系統	18	3.	取水施設改修計画	23
4.	計画排水量	18	第5章	主要工事計画	23
5.	排水対策	18	第1節	用水施設	23
6.	湛水検討	19	1.	貯水池	23
第5節	道路計画	19	2.	頭首工	24
1.	道路及び索道	19	3.	揚水機	24
2.	路線配置図	19	4.	用水路	24
第6節	農用地造成計画	20	5.	その他かんがい施設	24
1.	農用地造成計画	20	第2節	排水施設	25
2.	土壌改良	20	1.	排水水門	25
第7節	洪水調整計画	20	2.	排水機	25
1.	計画基準雨量	20	3.	排水路	25
2.	計画洪水量及び調節量	20	4.	その他排水施設	25
3.	貯水池	20	第3節	道路及び索道	26
4.	洪水調節検討	21	1.	道路	26
5.	管理計画	21	第4節	農用地造成	26
第8節	干拓計画	21	1.	農用地造成	26
第9節	農用地整備計画	21	2.	土壌改良	27
1.	区画整理	21	第5節	洪水調整施設	28
2.	暗渠排水	22	1.	貯水池	28
3.	客土	22	2.	頭首工及び導水路	28
4.	農地保全	22			

第6節 干拓施設	28	第4節 土地の評価及び精算の方法	33
1. 堤防	28	1. 評価の方法	33
2. 潮止め	28	2. 精算の方法	33
3. 付属施設	28	第5節 換地計画樹立の年度計画	33
4. 埋立	28	第10章 事業費の総額及び内訳	34
第7節 農用地整備施設	29	第11章 効用	35
1. 区画整理	29	第12章 関連する事業	35
2. 暗渠排水	29	第13章 現況・計画図面	35
3. 客土	30		
4. 除礫	30		
5. 農地保全	30		
第8節 老朽ため池改修施設	31		
1. 貯水池	31		
2. 堤体補強施設	31		
第6章 付帯工事計画	31		
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	31		
第8章 環境との調和への配慮	31		
第9章 換地計画の概要	32		
第1節 換地計画を作成する上で基本的な考え方	32		
第2節 換地区の設定	32		
1. 換地区の名称、所在、面積	32		
2. 換地区の設定する理由	32		
第3節 換地計画樹立の基本方針	32		
1. 従前の土地の地積の基準	32		
2. 用途別予定地積	32		
3. 農用地集団化の方針	33		
4. 非農用地の換地の方法	33		

第 1 章 目的

- (1) 必要性 当池は堤体高さ7.1m程の池であるが余裕高不足である。また、洪水吐はコンクリート三面張であるが、コンクリートの劣化著しく損傷も見られ断面不足である。豪雨時には水位の急激な上昇を起こし、ため池全体が危険な状態となっている。取水はルーフゲートであるが、斜樋に損傷がみられる。また緊急放流に対応できない。
- (2) 緊急性 堤体からの漏水が堤体法尻に見られ、特に洪水吐付近は損傷が著しく非常に危険な状態である。そのような中、下流域には農地のみならず宅地が存在し、人命や財産に被害が及ぶおそれがあり住民の不安も大きいことから早急な改修が必要である。

第 2 章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農村地域防災減災事業	宮崎市大字長嶺

第2節 地積

(第2表)

事業名	現況地目						計 (ha)	備考
	市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	樹園地 (ha)		
農村地域防災減災事業	宮崎市大字長嶺	7.1					7.1	
		7.1					7.1	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	宮崎地方気象台		かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備考
観測期間	1991～2020		4月～9月	10月～3月		
平均気温 (°C)		23		12	17.7	気象庁 過去の気象データ 宮崎 平年値(年・月ごとの値)
降水量	平均(mm)	1924.1		701.5	2625.6	気象庁 過去の気象データ 宮崎 平年値(年・月ごとの値)
	基準年(mm)	-		-	-	
降水日数	平均(日)	114.7		83.0	197.7	気象庁 過去の気象データ 宮崎 平年値(年・月ごとの値)
	基準年(日)	-		-	-	
根雪期間		-月-日～-月-日		-日間		
無霜期間		3月19日～12月2日		259日間		気象庁 過去の気象データ 宮崎 平年値(年・月ごとの値)
最多風向		西北西		最大風速(風向)	39.2 m/s (南南東)	最多風向発生時期 : 4,5月、8月～12月 最大風速発生年月日 : 昭和20年9月17日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間 大正14年～平成28年																
最大日雨水量(mm)	587.9	S14.10.16	1/200	490.2	M19.9.24	1/100	437.5	H2.9.29	1/50	430.4	S9.10.23	1/40	387.3	S41.8.14	1/20	気象データ (宮崎)
最大時間雨水量(mm)	139.5	H7.9.30	1/100	134.0	S14.10.16	1/35	91.6	S17.6.23	1/30	87.0	S26.10.13	1/20	82.5	S58.9.27	1/15	気象データ (宮崎)
最大4時間雨量(mm)	354.5	S14.10.16 18～21	-	215.5	S25.10.12 17～20	-	200.0	S23.4.23 15～18	-	187.8	S9.10.23	-				
最大連続雨量(mm)	887.0	S16.7.15 ～7.24	-	710.7	S9.9.20 ～9.24	-	483.9	S48.8.15	-	446.2	S18.9.20	-				
最大連続干天日数(日)	(日) 50	S22.7.22 ～9.9	-	45	S9.7.23 ～9.3	-	42	S8.6.24 ～8.4	-	40	S17.7.4 ～8.14	-				

3. 海象 該当なし

(第3表-3)

観測所名	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
観測期間								
実測値								

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高 (m)		備考			
		傾斜区分	1/100 0 以上	1/1000 ~ 1/100	1/100 ~ 1/120	1/20 ~ 11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ~ 8°	8° ~15°			5° ~ 20°	20° 以上		計	最高	最低
			8° ~15°	10° ~15°	8° ~15°														
農村地域防災 減災事業	面積 (ha)		7.1				7.1									42.90	38.10		
	比率 (%)		100				100												
	面積 (ha)																		
	比率 (%)																		
合計	面積 (ha)		7.1				7.1												
	比率 (%)		100				100												

(第4表-1-2)

項目	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表										面積 (ha)		備考
	土 壌 断 面										事業名		
	土 色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土 性			泥炭層・ 黒泥層及び グライ層	堆積様式	母材	農村地域防 災減災事業	計	
表土					下層土	一層	二層						三層
第4紀沖積層	灰 リ-ブ	含む	-	-	砂質シルト		粘土	粘土	-	堆積土		7.1	7.1
計													

該当なし

(第4表-1)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				がり侵食の程度		備考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土地分類

該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農用地造成										計 (ha)	備考	
		一級地	二級地				三級地				四級地			
			* (ha)	3°~8° (ha)	8°~12° (ha)	12°~15° (ha)	* (ha)	15°~20° (ha)	20°~25° (ha)	25°~30° (ha)	* (ha)			30°以上 (ha)
														*は傾斜以外の要因によるもの
	計													

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	級地別	農用地造成					備考
		一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
	計						

3. 土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	土地利用別	耕地					山林		彩草牧草地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園 (ha)	用材林 (ha)					
農災被災地域防	宮崎市大字長嶺	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1	
	合計	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1	

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別		個人所有	県有	計	備考
	区分					
農村地域防災減災事業	面積 (ha)		7.1		7.1	
	受益者数 (人)		39		39	
	筆数 (筆)		97		97	
	権利関係		39		39	
	備考 (関係戸数)		97		97	
合計	面積 (ha)		7.1		7.1	
	受益者数 (人)		39		39	
	筆数 (筆)		97		97	
	権利関係		39		39	
	備考 (関係戸数)		97		97	

第3節 水利状況

1. 用水状況

- (1) 用水系統
- (2) 用水施設

九日田池 池より水を確保し、下流側水田に用水している。

(7) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
		20ha以上		20ha~10ha		10ha未満		箇所	ha	箇所	m3/	箇所	m3/s	m3/s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農村地域防災減災事業	貯水池			1	7.1			1	7.1					0.0480	
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計			1	7.1			1	7.1	-	-	-	-	0.0480	

(1) 改修する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
農村地域 防災減災事業	貯水池	1	7.1	均一型	堤長 : 69 m	100年以上	老朽化及び断面不足	
					堤高 : 7.7 m			
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計	1	7.1					
	合計	1	7.1					

(3) 用水に関する被害状況

(7) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m ³)	不足水量				平均減産量		備考
				かんがい期 最大不足水量		かんがい期 総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				(m ³ /s)	(m ³ /s)	(千m ³)	(千m ³)			
	計									
	合計									

(1) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 (°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
農村地域防災減災事業	2.7		0.16	3.0	3,520	36,780	23,479	0	171,990	235,769	
計	2.7		0.16	3.0	3,520	36,780	23,479	0	171,990	235,769	

(1) 排水系統 該当なし

(2) 排水施設 該当なし

(7) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考
			100ha以上		100ha~50ha		50ha未満		箇所	ha			
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
	合計												

(1) 改修を要する施設一覧

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
計									
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
計									
合計									

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水 面積 (ha)	降水量 (mm/hr)	湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千/m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
								乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均													
			基準年													
			平均													
			基準年													
	計		平均													
			基準年													

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売 小売業 飲食店	金融 保険業	不動産 業	サ・ビ・ス 業	公務	その他	備考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
宮崎市	201,398	8,903	404	342	33	15,255	16,250	1,266	13,118	33,837	5,904	3,824	42,837	10,465	48,960	令和2年国勢調査
計	201,398	8,903	404	342	33	15,255	16,250	1,266	13,118	33,837	5,904	3,824	42,837	10,465	48,960	
比率(%)	100%	4.4%	0.2%	0.2%	0.0%	7.6%	8.1%	0.6%	6.5%	16.8%	2.9%	1.9%	21.3%	5.2%	24.3%	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数										戸当たり平均農用地 面積 (ha)				耕地の 分散状況		専業別 農家数 (戸)			備考
		0.3 ha 未満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ha 以上	経営耕 地なし	田	畑	樹 園 地	計	一戸当 り 団地数	団地当 り面積 (ha)	専業	兼業			
																		第一 種	第一 種		
宮崎市	3,628	95	624	1,073	666	335	387	288	130	30							2,195	555	878	2015農林センサ	
計	3,628	95	624	1,073	666	335	387	288	130	30							2,195	555	878		
比率(%)	100.0%	2.6%	17.2%	29.6%	18.4%	9.2%	10.7%	7.9%	3.6%	0.8%							60.5%	15.3%	24.2%		

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	トラクター-耕運機		田植機		コンバイン		乳牛		肉用牛		豚		鶏				
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)			
宮崎市	4,333	2,981	2,060	2,019	1,810	1,768			101	4	12,672	414	13,530	10	32,287	24	2015農林センサ
計	4,333	2,981	2,060	2,019	1,810	1,768			101	4	12,672	414	13,530	10	32,287	24	
100戸当り数量(台・頭・羽)	145		102		102		2,525		3,061		135,300		134,529				
利用戸数割合(%)	82		56		49		0		11		0		1				

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名			宮崎市				計		平均		作付率 (%)	備考
総耕地面積 (ha)			8,010				8,010					
総本地面積 (ha)			8,010				8,010					
作物名	区分		作付面積 (ha)	単位面積当たり収穫量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収穫量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収穫量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収穫量 (kg/10a)		
	田	表作	水稻	2,050	482					2,050		
裏作												
小計			2,050					2,050		25.6%		
畑												
	小計											
樹園地												
	小計											
計												
市町村別延べ作付率 (%)			-				-		-			

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農家 (戸)		土地 (ha)			主要作物 (ha)			大家畜			動力農機具			地域指定当	備考
	B	A	B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A			
変化の状況 (C年を100とする指数)	総農家数	83	—	耕地	92	84	水稻	89	81	乳用牛	80	80	動力田植機	80	—	A; 2020センサ B; 平成27年 (H28県統計年鑑) (H28県統計年報) C; 平成22年 (H23県統計年鑑) (H23県統計年報)
	専業農家数	91	—	田	95	83	いも類	113	107	肉用牛	79	77	トラクター	85	—	
	第一種兼業農家数	81	—	畑	89	87	工芸農作物	62	54	豚	78	87	コンバイン	83	—	
	第二種兼業農家数	72	—	樹園地	88	77	野菜類	5	6	ブライヤー	98	133				
	農業従事者数	105	—	草地	—	—	花き類	2	2							
変化の理由																

第6節 地域環境の概要

工事に伴う土壌、土砂が河川に流出しないように努める。また、周辺の自然性の高い植生、動物に影響を及ぼさないように配慮する。地形、植生改変を極力少なくし、周辺の自然環境との調和に配慮する。

第4章 一般計画

第1節 事業計画要旨

1. 要旨

堤体からの漏水が堤体法尻に見られ、特に洪水吐付近は損傷が著しく非常に危険な状態である。そのような中、下流域には農地のみならず宅地が存在し、人命や財産に被害が及ぶおそれがあり住民の不安も大きいことから早急な改修が必要である。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分	農村地域防災減災事業												計						
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	輪換 耕地 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	輪換 耕地 (ha)	小計 (ha)		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	輪換 耕地 (ha)	小計 (ha)
災害危険防止	-	-	-	-	7.1	7.1													7.1
計	-	-	-	-	7.1	7.1													7.1

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区は、営農形態の転換を図るため施設園芸を導入し、安定した用水計画を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	輪換 耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農村地域防災減災事業	現況	7.1	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	7.1	
	計画	7.1	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	7.1	
計	現況	7.1	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	7.1	
	計画	7.1	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	7.1	

5. 労働改善計画

該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (ha/10a)				備考
				区分	現況	計画	増△減	
合計				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				

6. 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分面積 (ha)								備考	
		田	輪換耕地	畑			計				
				普通畑	牧草畑	樹園地					

第3節 用水計画

1. 計画基準年
2. 計画かんがい方式自然流下方式
3. 計画用水系統 変更なし
4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量 (m ³ /s)	損失 率 (%)	必要水量		備考
		事業名		普通期	代掻期	面積 (ha)	一日当 り計画 平均間 断日数	平均間 断日数	面積 (ha)	一日当 り計画 平均かん 水深	平均間 断日数	面積 (ha)	計画平均 単 位 用 水 量 (mm/日)	面積 (ha)			平均 (m ³ /s)	最大 (m ³ /s)	
		農村 災 害 防 災 減 災	計	計画平均 単 位 用 水 量 (mm/日)	計画代掻 単 位 用 水 量 (mm)		一日当 り計画 平均かん 水深 (mm/日)	(日)		(日)	(mm/日)		(日)	(ha)					
	ため池	7.1	7.1	25	150	7.1								0.0484	15		0.031		
	計	7.1	7.1	25	150	7.1								0.0484	15		0.031		

(2) 営農飲雑用水

該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当給水量		補給回数 (回)	関径戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量 (l/日)	最大給水量 (l/日)			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画

該当なし

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千m ³)	有効水量 b (千m ³)	純用水量 c=a-b (千m ³)	粗用水量 d=c/(1-α) (千m ³)	現況利用可能水量		不足水量		水源依存量		水源工種	備考 損失率: α
					水源名	取水地点 利用可能量 e (千m ³)	ほ場利用 可能量 f (千m ³)	純不足 水量 g=c-f (千m ³)	全不足 水量 h=d-e (千m ³)	水源名		
計												

(2) 用水対策

(7) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接	事業名							
			農村地域防災減災事業		計					
九日田池	3.0		7.1		7.1	22.0	22.0	1	0.03	

(i) 井堰及び自然取水入口

該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量 (m ³ /s)		揚水量 (m ³ /s)	備考
			事業名			最大	平均		
					計				

(j) 揚水機

該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m ³ /s)		揚水機				備考	
		事業名			最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)		
				計								

(k) 用水路

該当なし

(第10表-6)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	備考
		事業名						
				計				

(l) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

該当なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量 10年確率60分雨量 = 77 mm/hr 10年確率雨量1時間雨量T = 60 分 (調査計画手法作成調査による)
 2. 計画排水方式 自然排水
 3. 計画排水系統 該当なし
 4. 計画排水量 該当なし

(第11表-1)

排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量		備考
	事業名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
			計									自然排水	機械排水			
計																

5. 排水対策

- (1) 排水水門 該当なし

(第11表-2)

名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画		排水本川			備考
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内たん水深 (m)	名称	計画排水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						

- (2) 排水機 該当なし

(第11表-3)

名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水路				備考
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							

(3) 排水路

該当なし

(第11表-4)

名称	項目 流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名						名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計							
計											

(4) その他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

該当なし

(1) 道路

該当なし

(第12表-1)

路線名	項目 幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
	×			
	×			
	×			
	×			

(2) 索道

該当なし

(第12表-2)

路線名	項目 能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図

該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画 該当なし
 (1) 農用地造成計画 該当なし

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

- (2) 末端道水路配置図 該当なし

2. 土壌改良 該当なし

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統 (区)名	pH		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収 係数 (mg/100g)	ha当り所要量			備考
			H2O	KCl			石炭 (t)	りん酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調整計画

1. 計画基準雨量 該当なし
 2. 計画洪水量及び調節量 該当なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達 時間 (hr)	計画 洪水量 (m ³ /s)	安全 洪水量 (m ³ /s)	必要 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3. 貯水池 該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		計画 洪水量 (m ³ /s)	貯水量 (千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4. 洪水調節検討
 (1) 河川改修計画との関係 該当なし
 (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 該当なし
 (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 該当なし

5. 管理計画
 (1) 管理機構 該当なし
 (2) ダム管理操作上の各種基準 該当なし
 (3) 洪水調節要領 該当なし

第8節 干拓計画 該当なし (第15表)

貯水池名	項目	延長 (m)	計画高潮(水)位	風向及び対岸距離	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考
			(T. P. m)	(km)			

第9節 農地整備計画

1. 区画整理 該当なし
 (1) 区画の形状 該当なし

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
計					

- (2) 表土扱い 該当なし

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考

- (3) 末端道水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水
(1) 暗渠排水

該当なし
該当なし

(第16表-3-1)

区分	項目	面積 (ha)		事業名	計	土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (リットル/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備考
	計										

(2) 心土破碎

該当なし

(第16表-3-2)

区分	項目	面積 (ha)		事業名	計	土壌統(区)名	土壌硬度	備考
	計							

3. 客土

該当なし

(第16表-4)

区分	項目	面積 (ha)		事業名	計	土壌統(区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当り客土量 (m ³)	土壌の性質		備考
		現況平均	計画平均				現況平均	計画平均	受益地 (%)	採土地 (客土材料)				
	計													

4. 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第16表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工

該当なし

(第16表-5-2)

区分	項目	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	水量		備考
					単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

該当なし

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
計					

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量 153.1 mm/hr

(2) 計画洪水量 1.23 m³/s

2. 堤体補強計画 プロックマット工及び土工

3. 取水施設改修計画 斜樋及び底樋

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称	形式	流域面積 (km ²)		位置			貯水量 (千m ³)		備考	
		直接	間接	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地盤質	総貯水量		有効貯水量
堤体	均一型	0.03	-	7.7	69.0	10.4	-	22.0	22.0	
洪水吐	形式	洪水量 (m ³ /s)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)	
	正面越流型	1.23	-		斜樋	0.048		コンクリート三方張	1.23	

2. 頭首工

該当なし

(第17表-2)

名称	位置	堤長 (m)			取水位 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備考
		固定部	可動部	計				

3. 揚水機

該当なし

(第17表-3)

名称	項目	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考	
				全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力	台数 (台)		

4. 用水路

該当なし

(第17表-4)

水路名	項目	かんがい面積 (ha)		通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
		事業名			開きよ	トンネルその他	計				
			計								

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

(第18表-1)

名称	項目	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /s)	備考		
	計									

2. 排水機

該当なし

(第18表-2)

名称	項目	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考	
				全揚程	実揚程	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力	台数 (台)		
	計												

3. 排水路

該当なし

(第18表-3)

名称	項目	受益面積 (ha)		通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
		事業名			開きよ	トンネルその他	計				
			計								
	計										

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表 該当なし

(第19表-1)

項目 名称	路線名	幅(有効)(m) ×延長(m)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考	
				名称	構造	数量 (箇所)					
計											

(2) 道路主要構造物 該当なし

(第19表-2)

項目 名称	名称	規格構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

(3) 索道 該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				形式	動力	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

該当なし

(1) 抜根 該当なし

(第20表-1)

項目 名称	樹種	樹径 (cm)	ha当り本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(2) 除礫 該当なし

(第20表-2)

項目 名称	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

(3) 開墾作業

該当なし

(第20表-3)

項目		面積 (ha)	工法	備考
名称	地目			
	造成工法			
計				

(4) 地目変換

該当なし

(第20表-4)

項目		面積 (ha)	工法	備考
名称	地目			
計				

(5) 末端用水路等

該当なし

(第20表-5)

項目		数量	規模	構造	備考
名称	地目				
計					

(6) 末端排水路等

該当なし

(第20表-6)

項目		数量	規模	構造	備考
名称	地目				
計					

2. 土壌改良

該当なし

(第20表-7)

項目		面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
区分	地目					
計						

第5節 洪水調整施設

- 1. 貯水池 該当なし
- 2. 頭首工及び導水路 該当なし
- (1) 頭首工 該当なし

(第21表-2)

名所			位置					備考
形式	集水面積 (km ²)	堤高 (m)	堤頂 (m)			計画洪水位	付帯施設	
			固定部	稼動部	計			
計								

- (2) 導水路 該当なし

(第21表-3)

水路名	項目	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
			トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

- 1. 堤防 該当なし

(第22表-1)

項目 名称	形式	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

- 2. 潮止め 該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め 堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

- 3. 付属施設 該当なし

- 4. 埋立 該当なし

(第22表-3)

項目 名称	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理 該当なし

(1) 区画整理 該当なし

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m3)	面積 (ha)	土量 (m3)	

(2) 末端用水路等 該当なし

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
計					

(3) 末端排水路等 該当なし

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
計					

1. 暗渠排水 該当なし

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

区分	項目	面積 (ha)		集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考		
		事業名	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)	
計																		

(2) 心土破碎 該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

3. 客土

該当なし

(第23表-5)

区分	項目	面積 (ha)			客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
		事業名							
				計					
	計								

4. 除礫

該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5. 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
	計						

(2) 排水路

該当なし

(第23表-8)

区分	項目	延長 (m)	流量 (m3/s)	構造	備考
		Ⅲ			
		Ⅲ			
		Ⅲ			
		Ⅲ			
		Ⅲ			
	計	Ⅲ			

(3) 侵食防止工

該当なし

(第23表-9)

名称	項目	構造	数量	備考
	計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名称					位置			
堤体	形式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤頂 (m)	堤体積 (m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
	均一型	0.03	7.7	69.0	10.4	3.0	22.0	-
洪水吐	型式	洪水量 (m ³)	規模 (m)	備考	取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	備考
	コンクリート三方張	1.23	2.00×1.20	-		取水孔径φ150 斜樋管径φ250	0.048	-

2. 堤体補強施設

- (1) 法面保護施設 ブロックマットにより保護する。
- (2) 漏水防止工 遮水シート工法により止水する。

第6章 付帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和 8 年度
完了 令和 11 年度

第8章 環境との調和への配慮

工事に伴う土壌、土砂が河川に流出しないように努める。また、周辺の自然性の高い植生、動物に影響を及ぼさないように配慮する。地形、植生改変を極力少なくし、周辺の自然環境との調和に配慮する。

3. 農用地集団化の方針

該当なし

(第25表-4)

換地区名	区分	地域別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	1戸当り目標団地数	区画畦畔の取扱い

4. 非農用地の換地の方法

該当なし

(第25表-5)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び精算の方法

1. 評価の方法

該当なし

2. 精算の方法

該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

該当なし

(第25表-6)

換地区名	区分	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考

第 10 章 事業費の総額及び内訳

種目	事業量	事業費(千円)	備考
1. 工事費		194,200	
堤体工	1.0 式	121,100	
取水工	1.0 式	48,100	
洪水吐工	1.0 式	8,000	
付帯工	1.0 式	17,000	
2. 用地買収補償費	1.0 式	7,800	
3. 測量試験費	1.0 式	15,000	

(第26表)

種目	事業量	事業費(千円)	備考
4. 工損調査	1.0 式	3,000	
5. 工事費	1.0 式	5,490	2.5 % 以内
計		225,490	
地方事務費	1.0 式	5,620	2.5 % 以内
合計		231,110	

事業費の内訳 (全体)

種目	事業量	事業費(千円)
工事費		194,200
堤体工	1.0 式	121,100
取水工	1.0 式	48,100
洪水吐工	1.0 式	8,000
付帯工	1.0 式	17,000
測量試験費	1.0 式	15,000
用地買収補償費	1.0 式	7,800
工損調査	1.0 式	3,000
工事雑費	1.0 式	5,490
計		225,490
地方事務費		5,620
合計		231,110

第 11 章 効用

(第27表)

区分	項目	年総効果額	年総増加所得額	備考
	減産防止効果	千円	千円	
	維持管理費節減	-14 千円		
	災害防止効果 (農業)	3,482 千円		
	災害防止効果 (公共)	0 千円		
	計	3,468 千円		

<参考> 妥当投資額 : - 百万円 投資効率 : -
 総便益額 : 202 百万円 総費用総便益費 : 1.17

第 12 章 関連する事業

該当なし

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

第 13 章 現況・計画図面

1. 計画一般平面図 別途

九日田地区 農村地域防災減災事業 位置図
 県 宮 (宮崎県) S=1:25,000

宮崎県市町村区画図 (9市14町3村)



流域面積 A = 3.0 ha

間接被害区域 A = 0.0 ha

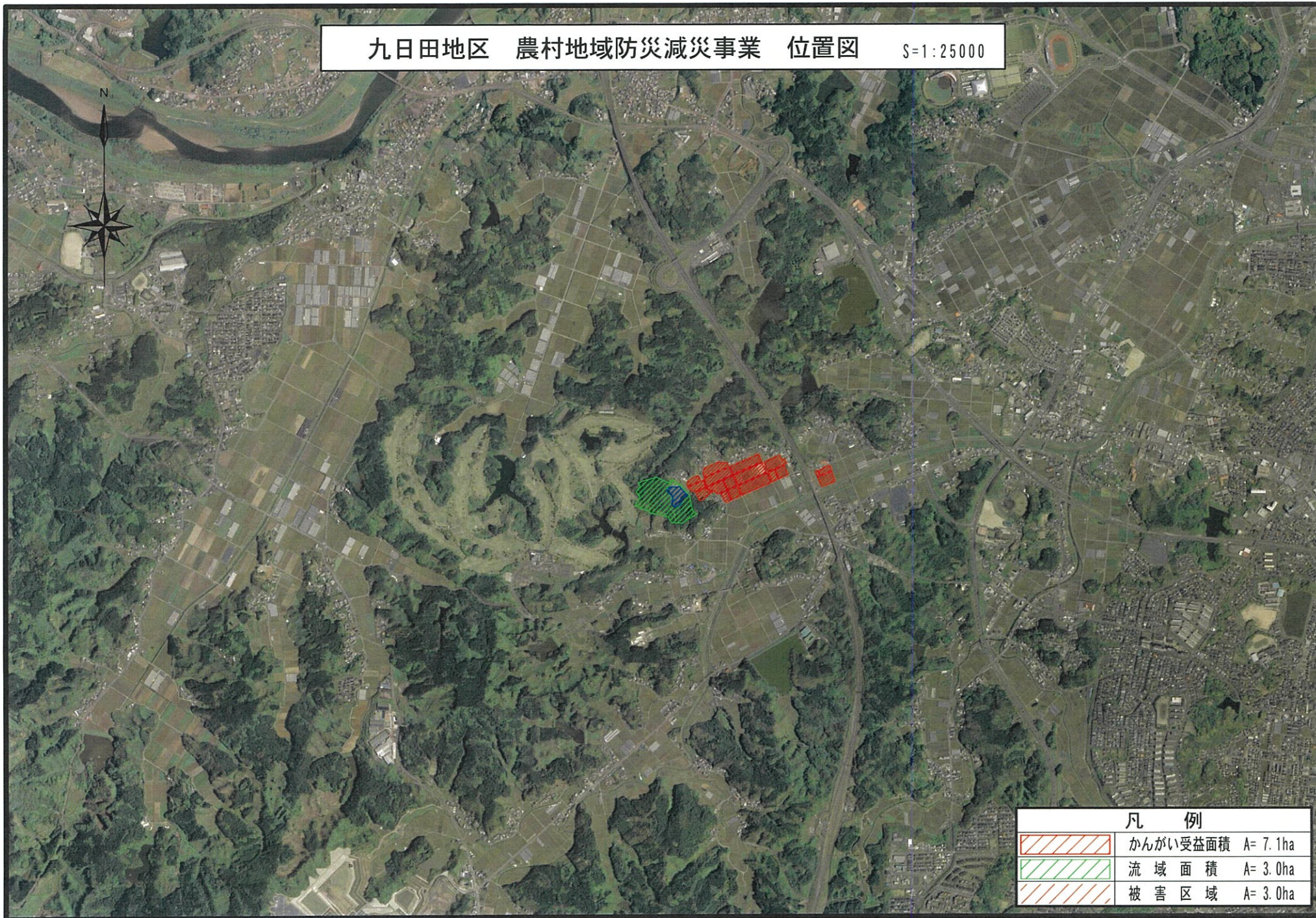
受益面積 A = 7.1 ha

直接被害区域 A = 3.0 ha

凡 例		
記号	名 称	
	かんがい 受益面積	A = 7.1 ha
	流域面積	A = 3.0 ha
	被害面積	A = 3.0 ha
	直 接 被害区域	A = 3.0 ha
	間 接 被害区域	A = 0.0 ha

九日田地区 農村地域防災減災事業 位置図

S=1:25000



農村地域防災減災事業 九日田地区 一般計画平面図

平面図 S = 1:500

堤体工 L=69.00m

ネットフェンス L=68.00m 門扉 n=1箇所



洪水吐工
L = 29.36m

斜樋・土砂吐工
L = 35.16m

ネットフェンス
L=48.00m

柵工3型 n=1.0ヶ所
トランジ ョン300型 n=1.0本

階段工
n=1.0式

用水管接続工
n=1.0式

側溝U-1500
L=6.00m

側溝U-1300
L=28.10m

側溝U-1300
L=47.00m

柵工2型 n=1.0ヶ所

柵工1型 n=1.0ヶ所
トランジ ョン500型 n=1.0本

トランジ ョン500型
n=1.0本

